

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	せんだんの杜国見ヶ丘の家		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 25日		～ 令和7年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 4日		～ 令和7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各ご家庭の状況やご希望に応じたご利用への対応や送迎対応を行なっている。	可能な範囲で保護者様からのご希望に沿うことができるよう柔軟に対応している。送迎場所や送迎時間等は、保護者様の就労状況やご兄弟への対応等に配慮して支援を行なっている。	今後も継続して支援ができるよう、送迎コースの調整や業務改善等を行なっていく。
2	活動プログラムが固定化しないよう、月毎に目標やねらい等を設定し、週単位で活動の立案を行なっている。	・日々の打ち合わせ等で活動プログラムを細かく確認・共有している。 ・放課後等デイサービスガイドラインを踏まえ、「4つの活動」「5領域」を確認しながら立案している。 ・ご利用者様の興味関心に合った活動プログラムを設定している。	・今後も活動プログラムが固定化しないよう、日々の打ち合わせで内容を丁寧に確認・検討していく。 ・定期的に職員全員で放課後等デイサービスガイドラインの確認、振り返りを行なっていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民や地域の関係機関との交流の機会が設けられていない。	・児童館等と交流する機会が設けられていない。 ・地域の関係機関等が開催しているネットワーク会議等に事業所に所属する職員が出席できていない。	・児童館等と連絡調整をして子ども達同士が交流できる活動や行事等を設定し、交流を図る。 ・地域の関係機関等が開催しているネットワーク会議等に、積極的に出席する。
2	保護者様同士の交流会や研修会、家族支援プログラム等を定期的に開催出来ていない。	・保護者様同士の交流会は開催できたものの、頻度が低い。 ・保護者様への向けの研修会等を開催出来ていない。	・数ヶ月に1回等、定期的に開催出来るよう検討していく。 ・保護者様のニーズに応じた研修会等の企画を検討する。
3	ご利用者様や保護者様等が見やすい形での情報発信が出来ていない。	・通信等の発行頻度が低い。 ・HPやSNS等を活用しての情報発信が出来ていない。 ・申し送りやモニタリング等の際に口頭での情報発信が多い。	・通信等の発行頻度を高くする。 ・HPやSNS等を活用した情報発信方法を検討していく。 ・口頭だけでなく、書面等での目に見える形で情報発信をしていく。